

特集 2

北国が生んだ巨匠。棟方志功の創造の世界。

SHIKO MUNAKATA

苫小牧市美術博物館

2026
9月
11月
23日
[月・祝] [土]の北
祈方
りへ

棟方志功

月曜
休館— PRAYERS FOR
THE NORTH※ただし、
月曜祝日の場合は
開館し、翌平日は休館

[主催] 苫小牧市美術博物館

[協力] 青森県立美術館、青森県立郷土館、一般財団法人棟方志功記念館、株式会社毎日映画社、八戸市美術館、室蘭市港の文学館 [後援] 苫小牧商工会議所、苫小牧信用金庫、苫小牧民報社、北海道新聞社

会期 9月19日(土)～11月23日(月)

開館時間 9時30分～17時
(最終入館は16時30分まで)休館日 月曜日
(月曜祝日の場合は、
その翌平日)

夜間開館 9月22日(火)・11月20日(金)は20時まで開館(最終入館は19時30分まで)

観覧料 一般=600円(500円)、高大生=400円(300円)、中学生以下=無料

※()内は10人以上の団体および前売り券の料金。年間観覧券での観覧可

※併せて常設展、中庭展示も観覧可



HP

《御吉祥大辨財天御妃尊像図》1966
青森県立美術館

こころの中に美が祭られる

生涯にわたり独自の板画(自作木版画の呼称)芸術を築き上げ、今もなお「世界のムナカタ」として広く知られる棟方志功(1903～1975)。「北国」が生んだ巨匠・棟方志功の芸術における「北方性」に着目する本展では、自らのルーツである青森を題材とする作品をはじめ、「縄文」やアイヌ民族の儀礼に想を得た作品、さらには棟方芸術の到達点ともいえる神仏像を、3部構成で展覧することで、北方に対する望郷や慈愛の念、そして郷里の発展に対する祈りにも似たまなざしに焦点を当てます。

《青森山之神図》1974
青森県立美術館左) 香炉形土器(風韻堂コレクション) 縄文後期 青森県立郷土館
右) 壺形土器(風韻堂コレクション) 縄文晩期 青森県立郷土館